



京都市学校歴史 博物館だより

VOL.
11

平成17年2月発行



上村淳之館長 就任挨拶

高校時代の恩師、上田正昭先生のご推薦をいただき、本館をしばらくお預かりすることになりました。

長い宮仕え——京都市立芸術大学の40余年——を終え、ようやく画業一筋と思っておりましたが、身についた習癖から逃げ切れないのかと思っております。と申すより、学校歴史博物館の前身、開智小学校は私の祖母上村松園の学舎であったことに、不思議なご縁を感じているところです。そして、松園の旧作「税所敦子孝養図」(注)が本館に納められております。

平成15年2月に「京都の学校ゆかりの画家 上村松園」展が開催されました折には、お招きいただき、ご来館の皆様と親しくお話することができました。

その折、小学校時代の同級生と名乗られる方々ともお目にかかりましたが、半世紀以上も前のこと、思い出せない失礼を味わったものですが、第2次大戦中の幼少の頃の思い出の一杯つまった時間を楽しく過ごさせていただきました。

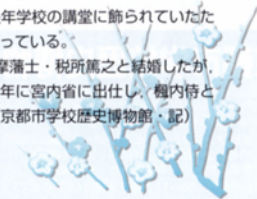
学校歴史博物館はそんな意味でも、学校の統合、改築の進む中、その頃を思い出させる数々の美術品、資料を蔵し、展示することでタイムスリップしたような感覚を持ちます。私達は幼少の頃の思い出に浸ることも楽しいのですが、今日の教育現場が必ずしも良い状況にあるとは申せず、また大人社会からの侵蝕による教育現場の不安も高まる中、もう一度学校教育とは何かを問う発信基地の一端ともなればと思っております。

市の施設として市民の憩いの場であり、活発な研鑽の場であり続けたいと思っております。

市民の皆様の一層のご参加、ご協力をいただきますようお願い申し上げます。

(注) 「税所敦子孝養図」 上村松園画伯の子息松篁氏に通っていた縁で、初音小学校の校長が児童たちの教訓になるような絵を松園画伯に要望して、この名作が誕生した。しかし、長年学校の講堂に飾られていたために著しく退色し、敦子が養母に孝行している姿を忍ぶことができなくなっている。

税所敦子は文政8(1825)年京都に生まれる。幼少より歌を詠む。薩摩藩士・税所篤之と結婚したが、夫の死後、薩摩に赴いて姑に仕え、その後高崎正風の推挙により、明治8年に宮内省に出仕し、輿内侍という女官名で皇后の歌の相手をつとめた。明治33(1900)年に死去。(京都市学校歴史博物館・記)



学校歴史博物館の正門・石塀 国の有形文化財に登録へ!!

京都市学校歴史博物館の正門・石塀が、国の文化審議会において平成16年12月10日、京都市街の町並みのなかに貴重な歴史的景観を残しているとして、有形文化財(建造物)に登録するよう文部科学相に申請されました。

この正門・石塀は、博物館の前身である元開智小学校(明治2年に開校した番組小学校64校の一つ)のもので、現在の門は明治34(1901)年に建設され、本瓦葺きで高麗門様式となっていて、大正7(1918)年に敷地内で移築しております。石塀も、同じく大正7年の建設であり、京都白川石が用いられた重厚な石積みとなっております。

現在では市内の学校に残る貴重な明治時代の木造建築の門であり、学校関係者はもとより、学校を支えてこられた地元の方々の保存への努力の賜であると言えます。国の有形文化財として登録されるのは、今春3月頃の予定です。



企画展「みて、きいて、楽しかった教員展」～子どもたちが目を輝かせた視聴覚教材・教員のいろいろ～

展示主旨 明治5年の「学制」布告により、日本の近代教育がスタートしました。新しい小学校では、一斉授業の形態で教えるために、掛図は重要な役割を果たしました。当時の教育者たちは指導の工夫をこらし、掛図から標本模型、幻燈、スライドと、子どもの視聴覚に訴える教具を開発してきました。

今回の企画展では、当時の子どもたちが初めて目にしたビジュアルな掛図から、ビデオ教材に至る様々な視聴覚教具を展示します。

- 「明治初期の掛図いろいろ」
- ・「第二學語図」文部省 明治7年 ほか
 - ・「視聴覚教員いろいろ」
 - ・「木製ジャバラ式幻燈機」清水小学校 ほか
 - ・「体験コーナー」
 - ・「昭和初期の運動会」映像
 - ・「教壇に立った芸術家たち」
 - ・「嵯峨野」幸野豊一
 - ・「百合」川島浩 ほか



開催期間 平成17年1月22日(土)～4月19日(火)

午前9時から午後5時(入館は4時30分まで)

休館日…水曜日(但し水曜日が休日の場合は翌日)

展示内容 教員約130点 絵画約20点

館長就任・ 国文化財登録 上村淳之 館長 記念講演会

- テーマ 「文化財の保護、そして育成」
- 講師 上村 淳之 京都市学校歴史博物館長
- 日時 平成17年3月27日(日) 14:00～15:30
- 場所 京都市学校歴史博物館
- 定員 250名(先着順)
- 参加費 無料
- 申込方法 電話またはFAX・Eメールで受け付けます。
- 締切 3月24日(木) または申込人数が定員を超えた時点

京都市学校歴史博物館

〒600-8044 京都市下京区御幸町通仏光寺下る梅町437
TEL:075-344-1302 FAX:075-344-1327 E-mail: gaku1111@bse.coc.ne.jp
http://www.gaku1111.bse.coc.ne.jp

- 入館料:大人200円、子ども等(小・中・高) 100円
20歳以上の団体:大人150円、子ども 6,800円
◎京都市内の小・中学生は全、日は無料
- 開館時間:9:00～17:00(入館は16:30まで)
- 休館日(水曜日)(休日の場合は翌日)
12月29日～1月4日



交通 ACCESS

- 阪急電車:「河原町」駅下車 南西へ歩5分
- 地下鉄:烏丸線「四馬」駅下車 南口改札東へ歩10分
- バス:「西高河原町」駅下車 河原町通より西へ二筋目(御幸町通)より南へ歩5分